

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 26 No 7

300号

平成30年 7月15日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

CLINIC NEWS 300号を迎えて

院長

かわむらこどもクリニックは、今年2月で開業25周年を迎え、クリニックNEWSが300号を迎えることができました。今から25年前の2月20日に、茨城県の日立総合病院から直接開業しました。落下傘のように降りてきたこともあり、開業当初は不安ばかりがつのる毎日でした。開業理念として「お母さんの不安・心配の解消」を掲げ、理念倒れにならないように様々な子育て支援活動を続けてきました。理念の実践として、最初に取り組んだのがNEWSです。壁新聞以来の新聞作りは、思った以上に大変でした。試行錯誤を繰り返し、6月にやっと創刊号の発行に至りました。その苦労も、今は懐かしく思い出されます。新聞が読まれていない不安や忙しさも手伝って、何度も途中で挫折しそうにもなりました。それを支えていたのが開業理念と読者の励ましの声です。この院内報を続けられたことが、その後の活動の原点になりました。

院内報の発行は、医学的な情報や知識を伝えることが目的でした。しかし、単なる情報提供だけではなく、院内報自体がクリニックと院長の歴史そのものです。病気で入院や首相官邸での表彰などの個人的なもの以外に、東日本大震災などの社会における様々な出来事が載っています。あんな時、こんなことがあったんだと、様々なことが思い出されます。さらには読者の広場は患者さんとのコミュニケーションに役立っています。患者さんからこれだけ多くの暖かい言葉を寄せてもらえる幸せな小児科医はいないと自負しています。

100号記念誌にも書きましたが、「継続は力なり」です。しかし、発行を継続するためのモチベーションは、読者のクリニックへの熱い思いです。300号まで続けられたのは、院長個人の力だけではなく、家族、スタッフ、そして多くの愛読者の後押しのお陰です。今回も、多くのお母さんや子どもたちから投稿をいただきました。さて、いつまで続けられるかはわかりませんが、読者から楽しみという言葉をいただいた以上、一人でも読者がいる間は続けたいと思います。さらなる応援をよろしくお願いいたします。

7月のお知らせ

・栄養育児相談

11、25日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料

・在宅休日当番のご案内

29日(日)は休日当番です。
9:00～16:00(昼休みあり)
上手く、利用してください。



300号おめでとうございます!

仙台市長
郡 和子

継続は力なりといいますが、日常の診療業務や講演等の合間を縫いながら、夜間の時間を削りながらの300号とお見受けします。川村先生の変わらない精力的な活動に頭が下がります。

私が政治の世界に飛び込む前、放送局に勤務していた時代から、川村先生とは親しくさせていただいております。当時、お医者さまとして深い見識をお持ちでありながら、一般の人にも分かりやすく、話しかけるような先生の語り口には、飾らない先生のお人柄が感じられ、また、初対面の人の緊張を和らげる不思議な力がありました。テレビ番組のコメンテーターをお願いしても、講演会の講師をされても抜群で、なにより、子どもたちの健やかな成長を願い、また、不安を抱えるお母さま方の心に向き合おうとされていた姿勢に感銘を受けたことを覚えています。心強い仲間を見つけたと独りごちてもおりました。

以来、20有余年が経過し、私はといえば、アナウンサーから国会議員、そして仙台市長と、立場こそ変わりましたが、川村先生とは変わらず、お付き合いをさせていただいております。仙台市政との関わりでいえば、川村先生には仙台小児科医会会長として、市役所との連携・コミュニケーションを図っていただいているほか、健康福祉、子ども・子育てなどの分野において、専門的見地からのご意見やご助言をいただいております。

未来を担う子どもたちが明るく、元気に育つことは、非常に重要なことです。人口減少や少子高齢化という課題がクローズアップされる現在にあって、我が国にとっても、仙台市にとっても、その重要性は益々高まっています。

仙台市ではこれまでも、切れ目のない子育て支援の施策を行ってきましたが、今年度から、これらに加えて、3歳児健診における尿検査を開始したほか、今後出産間もない時期におけるお母さま方への健康診査への助成や産後ケア事業も開始する予定です。これからも子どもたちの健やかな成長を支える環境づくりや、育児不安を抱えるお母さま方に対する心身のケア・育児相談などの充実を図ってまいりますので、仙台小児科医会をはじめとする医療機関の皆さまには、今後とも、ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、川村先生のご健康をお祈りしつつ、分かりやすくてためになる、このNEWSが、この先400号、500号と続いていくことを期待しております。



『子ども・子育て支援の都市仙台！ ネウボラを仙台に！！』

患者さんからのメッセージ

今月号で『かわむらこどもクリニックニュース』が、ついに300号を迎えることができました。ご愛読と応援ありがとうございます。Mail NewsとFacebookページで記事を募集したところ、多くのお母さん方や子どもたちからメール・手紙・写真・作品まで送って頂きました。皆さんの思いをなるべく伝えるため、原則として原文のままとしました。なお、掲載は50音順にさせていただきます。本当にありがとうございました。

ご無沙汰しております。平成16年～20年あたりまでお世話になった、青山ちひろとせいやの母です。

開院25周年おめでとうございます！そして、クリニックニュース300号も合わせておめでとうございます☆浅野はなみち、かれん母に聞いて、懐かしく思いメールしてみました。仙台→大宮→鶴岡に住み、今は山形市におります。

ちひろは、当時、吸入器まで購入しましたね。今は、ピアノで音楽科のある高校に入り、2年生になりました。せいやは、6年生まで多量の夜尿症に悩みましたが、今は中学3年生になり、バスケしか頭にないほど大好きでバスケ漬けの日々。もうすぐ180センチです♪

年間多い時は30回は先生のところに通ったな、と思い出しました。あちこちの土地で小児科にお世話になりましたが、先生もスタッフさんも一番親切でした。これからも、お身体に気をつけて、地域の子供たち・おかあさんの安心のためにがんばってくださいね！ 山形市 青山

川村先生、このたびは300号おめでとうございます！！山形の地より、心よりお祝い申し上げます。

いつも情報発信をしてくれ、こどもや母親のそばにいてくれる先生、スタッフの皆様、遠くにいてもいつまでも心の支えです。とにかく300号という響きに驚いて、続けることすばらしさ、先生でなくてはできないなあ、と子供達と話していました。

たくさん思い出があります。子供の具合が悪い以外にも、私の心配、花怜の耳ろう孔の手術、震災、震災後のクリニックの様子・・・開業20周年のニュースにも参加させていただいたこと。転勤で引っ越して仙台を離れてからも子供たちが具合が悪いとき、心配で秋田からも相談メールさせていただきました。先生の言葉に何度も助けていただきました。本当にありがとうございます。

おかげさまで中学一年になった花みちは、「『お母さん心配しないで』といつでも先生いっていたね」と、まるで私が具合が悪くてクリニックに通っていたかのように話します(笑)。花怜は3年生になり、二人ともバスケットボールを頑張っています。クリスマス会がとても楽しかったと、いまでも毎年、先生サンタの写真が家にかざられます。高橋斗希くん、友芽ちゃんのおうちとはたまに連絡をとって、きつとずっとこれからも、クリニックの話で盛り上がることと思います。クリニック友達ってなかなかないかなと。これもあたたかいクリニックの皆様のおかげです！！先生はいつからひげを生やしたのかな、なんて話も、こども達とでています。先生、日本全国に影武者がいるのでは??と思うくらいにお忙しい様子。これからもどん

どん、まえへ前へ、すすまれることと思いますが…。お体にはくれぐれもおきをつけてください。子供も大きくなりましたが、またクリニックに顔ださせてください！！これからも応援しています！！

山形市 浅野

(子どもたちからメッセージもらったのですが、改めて文章にしました。)

川村先生へ

お元気ですか？僕は中学生になり元気に過ごしています。ニュース、300回おめでとうございます。先生は、いそがしい中でも楽しいクリニックニュースをだしてすごいなと思います。ぼくが仙台にいたころ一番楽しかったことは、クリスマス会です。毎年楽しい行事をしてみんなで写真をとったりしていた時間がとても楽しかったです。今は残念ながら遠くて先生に会う機会がありませんので悲しいです。だから機会があったらまた先生と会いたいです。先生山形にも来てください！ 浅野 花みち

かわむら先生へ

元気ですか？私は毎日元気に学校に行ってます。クリニックニュース300回おめでとうございます。わたしは山形市のかつうらしようにかというところに行っています。先生はなんでびょういんの先生になりたいと思ったんですか？先生のびょういんは、子どもたちがいっぱいきていたいへんそうですね！！一番大変なびょうきはなんでしたか？わたしは、今小学3年生でバスケをがんばっています。

わたしはおとなになったら、食べ物やさんになりたいです。山形のはおいしい食べ物がいっぱいあるのでぜひ来ててください！！先生がんばれ！ 浅野 花怜

かわむら先生へ
元気ですか？わたしは毎日元気に学校に行っています。クリニックニュース300回おめでとうございます。わたしは山形市のかつうらしようにかというところに行っています。先生はなんでびょういんの先生になりたいと思ったんですか？先生のびょういんは子どもたちがいっぱいきていたいへんそうですね！！一番大変なびょうきはなんでしたか？わたしは、今小学3年生でバスケをがんばっています。わたしはおとなになったら、食べ物やさんになりたいです。山形にはおいしい食べ物がいっぱいあるのでぜひ来ててください！！先生がんばれ！！
花、小令、ヨリ

川村先生へ
お元気ですか？僕は中学生になり元気に過ごしています。ニュース、300回おめでとうございます！先生は、いそがしい中でも楽しいクリニックニュースをだしてすごいなと思います。ぼくが仙台にいたころ一番楽しかったことは、クリスマス会です。毎年楽しい行事をしてみんなで写真をとったりしていた時間がとても楽しかったです。今は残念ながら遠くて先生に会う機会がありませんので悲しいです。だから機会があったらまた先生と会いたいです。先生山形にも来てください！！
花みち

こんにちは。今日もうだるような暑さですが、川村先生はお元気ですか。
いつもお世話になっております、阿〇 〇〇・〇〇〇の母です。CLINIC NEWS 300号 おめでとうございます。
子供たちが小さい頃はあんなに毎月のように通っていたのに、成長するに連れ、体も丈夫になり、先生やスタッフの皆さんの顔を拝見することも少なくなり、さみしく思っています。
他の病院に行くときは、いつも少し緊張する私ですが、かわむらこどもクリニックは”安心感”を得られる場所です。
〇〇はこども病院にお世話になり、川村先生にもアドバイス頂いて、メラトニンの投薬治療を続けています。睡眠時間は、以前よりぐっと長く取れるようになってきました。
ただ、学年があがるに連れ、発達障害は一筋縄ではいかず、うまくいかないこともでてきました。こども病院の先生に相談し、「ここねっと」というところで、実践トレーニングを始めようかと準備しているところです。
以前に、ことばの発音の問題や発達の問題等々をご相談した時に、先生は、「後で、あの時やっておけばよかった…という後悔をしないようにしなさい。」とおっしゃってました。その言葉を時折思い出し、息子が苦痛なく生活できるよう、様々な機関と相談しつつ頑張っています。
時折、私が息切れしてしまうので、たまにメールでご相談させてください。
〇〇〇は、反抗期真っ盛りですが、勉強、部活、習い事と欲張りに頑張っています。
厳しい暑さが続いています、川村先生、スタッフの皆様、お体大切になさってください。
青葉区 阿〇

300号に寄せて。こんな時期にお世話になるのも何かの縁かもしれませんので、一文送らせていただきます。
伍希はすっかり元気になり、牛乳も「少しはいいと川村先生は言った」と解禁しました(-.-; …そうでしたっけ?以下、お祝い文です。
300号おめでとうございます。
通い始めた頃は、こんなにもお世話になるとは想像していませんでした。自宅が職場から近くはないため、時々不思議がられます。そんなときは、「子のかかりつけ医が近いところに自宅をもうけました」と説明します。何だかとても子ども思いの親のようですが、よし、川村先生のところに行こう!と思うのは、子どもの体調だけではなく、落ち込んでいたり不安だったりする自分のためでもあるなあと思います。
これからも、どうぞよろしく願います。
兄のメッセージ…は、読み捨ててください。趣旨を理解していない(-.-;
よかったですね。おれもすっかりげんきになりました。おかあさんもよろこんでいます。
青葉区 池田

こんにちは!
北村けいとの母です。いつも親子共々お世話になっております。
CLINIC NEWS300号おめでとうございます!!
いつも忙しいのに毎月発行されていて、凄いなと思っていました。その反面、お忙しいのにちゃんと休めているのかなと少し心配です^^;
クリニックにお世話になり始めて3年ちょっとですが、けいとはかわむら先生が大好きで、かわむら先生のとこ行こうか〜?と言うと、「かわむら先生のとこ行く!早く行こう!」と毎回急かされています(笑)
歯医者さんや検診で違う先生だと、嫌だ!行かない!と言われますが、「かわむら先生のお友達の先生だから大丈夫だよ」と言う、納得して行ってくれるので、かわむら先生の存在は、けいとにとっても大きいんだなと思いました(笑)
私の咳が酷く途方に暮れていたときも、「大丈夫!絶対治すから!」と言ってくださったり、先生が心配していたから…と、わざわざお電話までいただいたときには、かわむら先生のところに通っていて本当に良かったなと思いました。
看護師さん、受付のスタッフさんにもいつも優しくしていただいて、感謝感謝です。(いつもおもちゃやシールをねだってすみません笑)
300号を記念して、感謝をお伝えしたく、メールさせていただきました。
青葉区 北村

clinic ニュース 300号おめでとうございます。宮城野区の郷家と申します。いつもお世話になっております。
私は、娘が赤ちゃんの頃からもう15年かわむら先生の所に通っています。娘が赤ちゃんの頃、アトピーが酷く、どこの病院に行ってもよくなり、他の病院で娘のアトピーを(船に例えたら沈没です)なんてひどい言葉を言われたこともありました。どうしようと悩んでいた時に、知り合いから、かわむら先生を紹介してもらい、先生の話聞いて涙したこと、今でも覚えています。かわむら先生の言うとおりにケアすると、みるみる娘の症状が良くなり、本当に嬉しかったです。アトピーの症状が良くなると、今度は喘息です。季節の変わり目は、夜も眠れないほどひ

どい咳で、その時も先生にはずいぶんお世話になりました。感謝してもしきれません。

本当にありがとうございました。今では娘も中学生になり、喘息の症状もでなくなり、あまり病院に行くこともなくなっていました。なにかあったら、かわむら先生の所に行けば大丈夫！という気持ちがあり、かわむらこどもクリニックは心の支えです。

先生、スタッフの皆様、これからも頑張ってください。そしてこれからもよろしく願い致します。

宮城野区 郷家

いつもお世話になっております。小林大希、奈愛の母です。

CLINIC NEWS300号おめでとうございませす!!こんなに長〜く続けてるなんてすごいです。

300号と聞いて、うちにある1番古いCLINIC NEWSは何号なのだろう?と思い、ファイルをあさり探しました(笑)うちの1番古いCLINIC NEWSは…平成21年11月1日発行195号でした!!もっと前からお世話になってるはずなのにそれより前の新聞は見つかりませんでした☒

私達が、川村先生にお世話になり始めて13年になりますね!!私の自慢は、13年間毎月お世話になりっぱなしな事!!です(笑)子供だけではなく、時には私も。

思い出はいろいろありますよ!先生に助けて〜!と何度も言いましたね☒大希や奈愛の事で相談した時には、子供達の目線で私に大事なことを気づかせてくれたり。怒られた事もあったなあ(笑)他の病院のグチも聞いてもらったこともあるなあ(笑)

こうやって書いてみると、今まで川村先生には本当にお世話になってるんだなあ〜と改めて実感しました(^.^)

これからもどんどんお世話になるつもりです!川村先生、スタッフの皆さん!これからもどうぞよろしく願いします!!

最後に、子供達に「川村先生ってどんな先生?」と聞いてみました。奈愛は、「優しい先生!」大希は、「俺達の味方!!」だそうです!

宮城野区 小林

300号おめでとうございませす

川村先生、こんばんは(^.^)/いつもお世話になっております、紺野愛結と莉愛の母です。この度はCLINIC NEWS 300号、おめでとうございませす(*^^*)300号…長い年月の積み重ねですね。

川村先生のところで診てもらうようになり早13年。(今日は愛結の13才の誕生日でした)私がCLINIC NEWSと出会った時はきっと150号位だったのだな〜と思います。子供の成長と共にCLINIC NEWSの発行は2倍にもなったのですね!クリニックにお伺いした時には、帰りのお会計の時にCLINIC NEWSをいただいて、薬局や家に帰ってから読むのが楽しみの一つでした。

先生の毎月の話題や、メールの紹介など、共感できるものがあったり、為になる話に感心したり…震災から5年の思い出話の時には、私の投稿も載せていただき、とても思い出に残っています(*^^*)震災といえば、私の実家は福島で、あの震災が無ければ、上の愛結が小学一年生になる年に福島へ戻る予定でいました。(震災当時幼稚園年中でした)福島の放射能汚染のことがあり、福島へ戻る事は断念し、ここ仙台で生活することを選びました。

そのこともあり、なにかあれば今でも川村先生のクリニックへ通うことが出来ます。それも縁あっての事だな〜と思っています(^.^)

今では、ネット環境も整い、いつのCLINIC NEWSでも読むことができ、とても便利になりました。福島へ戻っていたとしても、きっと先生のホームページから毎月楽しみに読んでいたと思います。でも、先生のクリニックへお伺いし、紙のCLINIC NEWSをいただいて読むことができること、それも私にとっては醍醐味ですp(^.^)q(最近子供達も体調を崩すことは少なくなりましたが(^.^;))

愛結もこの春から中学生です。姉妹のことでは、先生にはいろいろメール相談にのっていただき、とても感謝しています。

これからもCLINIC NEWS、毎回楽しみにしています(^.^)/川村先生、どうぞお身体に気をつけて、私達母親の心の支えとなるCLINIC NEWSをまだまだ発行し続けて下さいね。

今朝はお返事ありがとうございました。CLINIC NEWS、楽しみにしています(*^^*)

昨日のメールで300号、長い年月の積み重ねですね…と書きましたが、もちろん、それだけでは300号にはならないこと…わかっています。先生の新聞に対する思いや私達母親へ対する思い、そして忙しい合間をぬって作成してくださる川村先生の大きな力あってのことだと思っています。300号って一言で言うと簡単ですが、続けること、続けたこと、本当に素晴らしいことだと思っています。



ありがとうございます。昨日は長い年月の積み重ね と簡単に書いてしまったので、補足でした m(_ _)m

青葉区 紺野

いつも大変お世話になっております！坂本りほりの母です。

今回の記念に初メールさせていただきます。

先日、職場で「あなたの常連の店、なぜ通うのか」というテーマで考える機会がありました。若い頃の私だったらカフェや洋服屋と答えたと思いますが二児の母となった今、真っ先に思い浮かんだのはかわむらこどもクリニックでした！そして改めて理由を考えたところ・・・

○スタッフの皆さんが親切であたたかい！

○診察がスムーズ、早くて丁寧！チームワーク良すぎ！

○先生の説明が分かりやすく的確！

などですが一番の理由は、「かわむらに行くとし自身が安心できる！」と言う事です。

子供の具合が悪くても、先生にみてもらえれば5割くらいは治った気になりますし、あとは薬飲めば大丈夫！あ～やっぱり来て良かった～と、落ち着いた気持ちになれます。

病気を治すだけではなく、お母さん方の心も元気にして下さる川村先生やスタッフの皆さん、いつも本当にありがとうございます！

これからもよろしくお願い致します！

青葉区 坂本

いつもお世話になっております。clinicnews300号おめでとうありがとうございます！

長男は中学生、二男も小学4年生となり、定期的に診ていただく機会は減りましたが、何かあれば川村先生へ相談！と思う気持ちは変わりません。

乳児検診の頃は親が中心でしたが、成長に合わせて子供本人に問診され、時には意味のわからない“主訴”もしっかり受け止めて頂いていました。(その時は、変な夢を見ると言っていました…。)母は先生に伝わらないのでは…と心配していましたが、治療だけでなく自分の言葉で伝える自主性を育てる教育をして頂いたのだと後で気づき感謝しております。

子供も先生を信頼しています。長男の将来の夢は川村先生のようなスーパードクター！です。夢を見るだけはタダなので頑張って！と応援しています。

先生、全国的なご活躍でご多忙と思われるます。どうかお体をご自愛下さい。これからも親子で変わらず頼らせて頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します！！

青葉区 N川



CLINIC NEWS300号おめでとうありがとうございます。

子どもたちがお世話になっております。

特に下の娘の命の恩人として、命を繋いで頂いた恩は一生忘れません。

子どもたちが病院嫌にならないのは先生のおかげです。

私の悩みのモヤモヤを聞いてくれる先生や看護師さんに感謝です

これからも私たち家族をよろしく願います。

青葉区 村尾

300号おめでとうありがとうございます！

先生、スタッフの皆さん、いつもありがとうございます m(_ _)m

300号っていつから…と思って÷12ヶ月したら、25！そうか、開院してからずっと作っていただいているんだと改めてすごいなと思いました！

私は子どもたちの体調など困った時や先生にみていただいて安心した時、先生にメールをして何度もありがたいお返事をいただいておりますが、お恥ずかしながら何度か載せていただいて…その度にかわむらクリニックの温かさを感じています！こんな恥ずかしいメール、秘密にしてほしいのにい～Σ(° Ⅱ°)(笑)と言いたいところですが、同じように困っているお母さんのためにも、クリニックNEWSは大切なので、忙しい中の編集は大変でしょうけど、よろしく願います！毎月楽しみにしています☆

あ、でも、毎月に近い病院通いは解放されたいですね(^^(笑)

子どもたちの写真も一緒に送信します！四つ葉のクローバーを見つけて撮りました！これからもイイことありますように…☆

富谷町 吉田



いつもお世話になっております。我妻叶翔、凜緒、拓翔の母です。

昨日は叶翔と凜緒の絵を持っていきましたが、母親のコメント…とっても簡単にですが…つたない文章ですみません (>.<)

300号おめでとうございます。

子供達3人、私や旦那まで、家族でお世話になっております。子供達が体調を崩しても、川村先生がいるから大丈夫！と子供が3人いても不安なく生活することができるのは川村先生とスタッフの方々のおかげです☆まだ1番上は小1ですが、孫の代までよろしくお願いします！！写真は我が家の2歳の次男、なんちゃって川村先生です(笑)

宮城野区 我妻



お祝いのメッセージ

川村先生、「CLINIC NEWS 300号」おめでとうございます。

仙台市教育委員会教育長 佐々木 洋

1993年6月の創刊から、実に25年間、診療や講演、審議会等の忙しい合間を縫っての執筆・編集でしょう。このNEWSを読まれた多くの保護者・子供たちが、疾病や成長に関する知識を得て、大きな安心につながってきたことと存じます。改めて、お取り組みに敬意と感謝を申し上げます。

さて、先生との出会いは2010年5月、私が健康福祉局保健衛生部長の時でした。先生が仙台小児科医会会長に就任され、仙台市の子供関係の福祉施策を知りたい、というお話をいただきました。「よっしゃ」とばかりに、健康福祉局、子供未来局の関係課長に依頼し説明の場を設けました。何百という事業があるので、理解していただいたかは確認しませんでした、大筋は飲み込んでいただけたと思います。

2011年暮れに、川村先生が会長を務める仙台小児科医会から、ムンプス（おたふくかぜ）、水痘（みずぼうそう）のワクチン接種について仙台市による接種費用助成の要望をいただきました。これらのワクチン接種は、厚生労働省が、まさにこれから定期接種化に向けて検討を始めるという段階であり、市単独では予算確保が必要で無理ではないかというのが率直な受け止めでした。しかし、先生から、「複数回必要な接種は市が先行実施により国の定期接種化後はその分、接種回数が少なく済む、何よりワクチンで防げる病気（VPD）として子供達に必要な、さらに接種費用全額補助とはいわずワクチン代は保護者の負担でどうか」、などの打開策の提案があり、これを受け入れる形で実施することとなりました。現在では、水痘（みずぼうそう）は国の定期接種となりました。

震災後も、感染症、ワクチン接種はもとより、子供の疾病や健康問題について、私にもわかるように丁寧に教えていただいております。

現在、川村先生は、校医の役割に加え小学校における命を大切に作る教室で保護者・児童向けの講演も行うなど、全国的にも先導的な活動を行っています。

今後とも、こうした多方面にわたる活動により仙台の子供たちの健やかな成長を支えていただくことを願いますとともに、「CLINIC NEWS」が未永く続くことをご期待いたします。



CLINIC NEWS 創刊 300号おめでとうございます。

清水赤十字病院 川村 雄剛

創刊されたのは、総合病院のNICU勤務のスペシャリストから、開業されて地域に根ざした小児プライマリケア医としての活動の序章だったと記憶しています。地域の子育てをする親に安心して医療を受けて欲しい、もしもの時の対処法を知って欲しいなど、さまざまな想いが込められたCLINIC NEWSは休むことなく25年間の間300号まで発行されました。これは、ひとえに父さんの情熱と継続力の生み出した偉業であり、同じ医師として尊敬すべき医師のスタンスであると感じます。

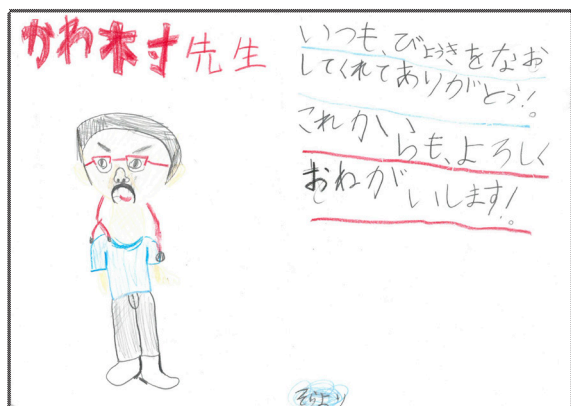
CLINIC NEWSに留まらず、20年前にはまだまだ認知度も低かったインターネットを利用したホームページの作成や時代を先取りしたインターネット医療相談を始められ、現在ではFacebookやTwitterなどのSNSを用いて、時代に対応する情報発信力は凡人には到底敵わない才能だと思えます。

現在は小児プライマリケア医としてだけでなく、学校医、全国レベルの有識者、医学教育者として様々な活動をされており、今後ますますの精力的活動を御期待申し上げます。全国を飛び回る日々、どうぞ御身体にお気をつけくださいませ。



子どもたちの展覧会

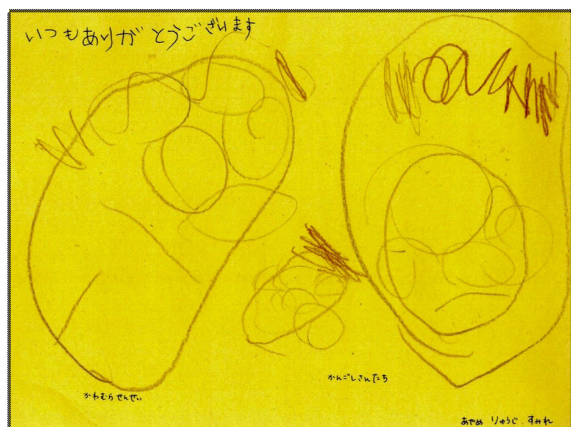
お母さん方の声掛けもあって多くの作品が集まりました。みんな、上手に書けていました。本当にありがとうございました。またの機会には、是非お願いします。



木島 奏良 (7才)



伊藤 世悟 (3才)



佐藤 すみれ (3才)・龍仁 (7才)



佐藤 あやめ (11才)



我妻 叶翔 (6才)・凜緒 (4才)



及川 結月 (6才)

戴いた手紙

メールによるメッセージの他にもお母さんや子どもたちから手紙をもらいました。メールとはひと味もふた味も違う気持ちを感じるので、敢えてそのままの画像で掲載します。

大和町 及川 紀三子、結月、皓斗
 結月、絵を書きました。
 川村先生、皆様、ご無沙汰しております。
 4月から、結月は1年生に、皓斗は幼稚園に通っています。はずかしながら、小学校にひとりで行けば、校門まで送ってひとりで行く結月、やんちゃで、元気最近ひとりでトイレの場所を覚えるようになった皓斗。まだまだ年がかりです。CLINIC NEWS 300号!! だいごすね。忙しい先生、なのに、すばらしいです。お体に気を付けて、これからも頑張ってください。

かわむらこどもクリニック スタッフの皆様

いつも大変お世話には、しております。
 私はいつも子供が「病気の時、同時に「子供に「配病」にかかっています。
 貴院は、子供の病気を「つてはく。
 心配を抱える母親のケアまでしてくれ、素晴らしい病院だと思っています。

祝 300号物でありがとうございます。
 ご多忙の中毎月ありがとうございます。
 改めて、先生の偉大さを続々と感じております。
 震災の時の号など、あの時思い出す貴重なものとなっております。
 これからますますよく頑張ります。
 未長

子供が産まれてから何度か引越をしましたがい、とんぱに遠くで、こも小児科を受えようとは思いませんでした。
 何かあれば、かわむら先生に相談できるという、お寺の様な存在です。
 これからもよろしくお願ひいたします。

菊池 基太郎、啓太の母より

前島 静香

かわむら先生へ
 いつもお世話になっております。遠藤由奈、千那の母です。この度はかわむら新聞300号物でメールをいただきました。先生はいつもいつもお世話になっているスタッフの皆様、感謝の気持ちを伝えたくて手紙を書きました。かわむらこどもクリニックに通いはじめたばかりですが、最初の頃は育児に対して前向きに悩んでいました。
 “かわむら”は“楽しい”よりも“この子をしっかりと守る”の力が“こころを強く、横断的、土地の育児の正産物”とていいます。そんな時、出会ったのが“かわむらこどもクリニック”です。お世話の時に行くたびに、離乳食が進まない時や、体重の増えが良くない時、細かな事でも行なう時に、涙が止まらなくなりました。
 ほんのりとした笑顔が、みんなに伝わるように、みんなに“一人ひとりの”
 Hello Kitty

信頼をわける
 “何かあれば話を聞いてくれるドクターが”
 “いつも笑顔で迎えてくれる看護士さん達”
 “薬の説明を、わかりやすく、丁寧に”
 本当はありがたい事だと思います。初めは育児の自信が持てず、何度も実家へ帰る事もあり、私自身も今は子供達に何かあればすぐ行く距離にあるこの土地、私の居場所になりました。
 心配性の私が毎日お世話になっている、嫌な腹一つせず、何かあれば不安な事があっても、大丈夫”と言ってくれる先生の言葉には、大変救われました。
 子供の体調不良や不安な夜は、看病をしてから“大丈夫です、明日かわむら先生に伺ってください”。子供に語りかけながら、自分も“先生に診てもらえば大丈夫!”と気持ちを強く持てる様になりました。
 大切な、信頼出来る小児科がある。母親としてこんなことが、大事だと思っております。
 本当にありがとうございます。
 遠藤

スタッフから

クリニック NEWS 300 号 おめでとうございます！！先生は病院の仕事以外にも忙しいのに、毎月出来上がる新聞には頭が下がります。旬の話題や病気に関する情報だけでなく、先生の旅行話し、また社会情勢等も踏まえて載っているのも、とても読みごたえのある新聞です。患者さんは勿論だと思いますが、勉強不足の私にとっても患者さんとのコミュニケーションに役立てていただいています。また旅行記はまるで自分も旅先に行ったかのような、楽しい気分になります。先生のみならず共有したいという温かい心遣いが、日々の診療の「母親の不安、心配の解消」へと繋がっていることが、クリニック NEWS 二面の読者の広場を見ても感じられます。お母さん達から寄せられるメールには、先生を信頼しているからこそその相談や感謝の言葉、心に

染み渡るものばかりです。お母さん達はいろいろ思いで、クリニックを受診していることでしょう。私も先生のように患者さんが、やっぱりクリニックに来て良かったと思っていただけるいうに、努力していきたくと思います。これから 350 号、400 号と、節目節目にかわむらこどもクリニックのスタッフとしてお祝いできるように、自分を磨き鍛えていい意味で変わってないねと言われる様になりたいです。川村先生には無理し過ぎず、これからは患者さんのために素晴らしい新聞を発行して欲しいと思います。私達スタッフにとっても学べる院内報なので、これからもよろしく願いいたします。 看護師長 中米由美子

「母親の不安・心配の解消」の理念に基づき、病院側とお母さん達とのコミュニケーションを確立していくことが大切と考えられて誕生した院内報が、記念すべき 300 号！！その後も時代の流れに合わせて院長が次々に生み出すコミュニケーションのツール。お手本になる先生の在り方が凄すぎです。本当に頭が下がります。インターネットの普及で活字離れと言われてはいますが、私にとって読者の広場は特別なものを感じられます。紙面の活字で読むお母さん方の言葉から、いろいろな思いが心に響いてきます。数年前から院長は、クリニックから飛び出して、コミュニケーションの場を学校や市役所など次々に作り出しています。そのコミュニケーションの結果全てが、お母さんや子ども達に何かしらの形で繋がっています。本当に凄い事です！ 看護師 佐藤陽子

300号おめでとうございます！ひとつの事を長く続けるのは難しいことで、まさに「継続は力なり」の言葉につきると思います。毎日の診察、医師会の仕事など…休んでいる時間はあるのかな？と思ってしまうほど多忙な姿をスタッフとして近くから見ていますが300号まで新聞を発行し続ける先生の偉大さを改めて感じています！かわむらこどもクリニックで働き始めた頃、クリニック NEWS を読んで医学的な知識を学んでいた日々、読書の広場でのお母さん方の子供を大切に思う気持ち、先生からのお母さんへの愛情のこもった返信を読んで心がほっこりしていたのが懐かしいです（もちろん今も新しい情報は新聞から得ていますよ）まだまだ、次は400号さらにはその先までクリニック NEWS ファンのひとりとして、これからも読み続けていける事を楽しみにしています！！ 事務主任 福地 あさか

300号おめでとうございます！

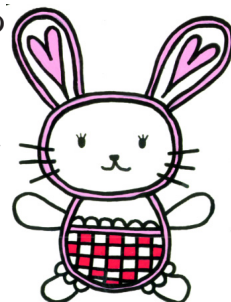
どんなに忙しい時でも、必ず月一での発行をされてきた先生。先生だからこそ、成し遂げられてきたものだと思います。出張のお話、流行している病気への対策、お母さん達からのお悩みの声に対する回答コーナーがあったりと、読んで得する事ばかりです！

今月はどんなニュースが読めるのかなと、毎月楽しみにしている1人です(^ ^)

診療以外の活動もパワフルにこなす先生、これからは陰ながら応援させていただきます！ 事務 瀬川里奈

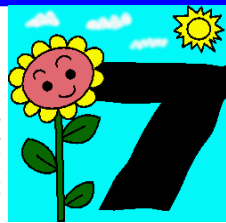
院長からスタッフへ

スタッフから 300 号おめでとうという言葉を受けたので、院長からは 300 号ありがとうの言葉を返します。今回頂いたメールにも、スタッフへの感謝が綴られていました。今年 2 月で 25 周年、そして 300 号と、記念すべき日を迎えることができたのも、スタッフの大きな力です。院長はきつところがあって、お母さんを凹ませることがあります。「全ては子ども達のため」だとしても、不安でいっぱいのお母さんは必ずしも理解できない時もあるはずです。まだ未熟な院長の代わりに、スタッフのフォローがお母さん達を救っているのでしょうか。スタッフの話題になるとこうコメントします。クリニックが評価されたとしても、6割はスタッフの力。院長はせいぜい4割ぐらいかな」と。不平不満を言わず、休みを取りなさいという院長命令に逆らうスタッフですが、抜群のチームワークでクリニックを支えているスタッフに、改めて「ありがとう」の感謝の言葉を贈ります。一緒に「お母さんの不安・心配の解消」を続けていきましょう。



読者の広場

先月は300号へのメールをたくさんいただきありがとうございました。逆にその分普通のメールはわずかに3通でした。ということで、今回は医療相談のメールを匿名で紹介します。



まずは、泉区の〇〇さんからの相談メールです。「お世話になっております。〇〇の母です。夜尿症の事でご相談がございまして。〇〇は小さい頃からおねしょがあり、それでも年々減少し、ここ数年は半年に一回位の頻度になっていました。ですが、先週から一週間で三回のおねしょがありました。寝る前にトイレに行っても出てしまったのが二回、本日、夕食後そのまま寝てしまった際に一回です。思い当たる事といえば、いつもより水分を多く採っていた気がする、水分を最後に摂取してから寝るまでの時間が3時間以内だった気がする事です。5月18日から野外活動が控えており、急に不眠になっております。やはり積極的な治療が必要でしょうか。(といいますが治療法があるのでしょうか?)身長も低く、二次性徴もまだ見られないようなのですが、その辺りも関わっているのでしょうか。本人は、この事で病院に行くのを嫌がっており、取り急ぎメールにてご相談させていただきまして。お薬などで改善の効果がえられるものがあるとするならば、なんとか説得してお伺いしたいと考えております。ご多忙の所恐縮ですが、お返事いただければ幸いです。」

院長は、次のように返信しました。「メールありがとう。実際半年に1回程度なら、本来は治療の必要はありません。何かしらのきっかけでたまたま夜尿が起きることがあります。このような間歇的な夜尿を治す薬は存在しません。野外活動が心配であれば、心理的な効果を期待して薬を飲むのも一つの方法です。その場合は本人も来院しないと効果ができません。この年齢になれば、自分が困る事は自分で乗り越えるという意識を持たせる事も必要です。その意味でも、心配があれば一度連れてきて下さい。」

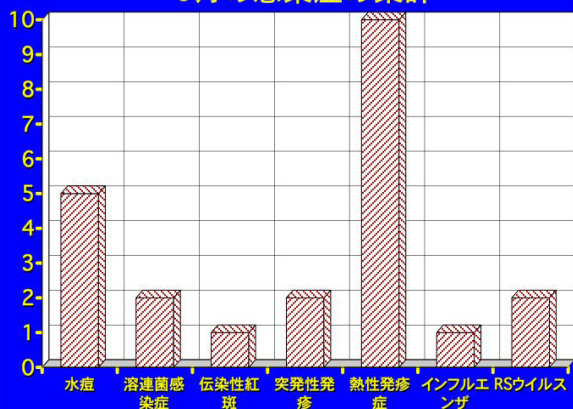
返信と受診後のメールです。「ご多忙の中、お返事ありがとうございました。明日、夕方にお伺いしたいと思います。本人は、診ていただくことが必要だと頭では解るものの、先生に相談する事が恥ずかしい思いで葛藤しているようです。」「昨日は大変お世話になりました。直前まで、やっぱり恥ずかしい行きたくないとおねしょして〇〇でしたが、先生とお話をした帰りの車の中で先生の声を聞いたら安心した、病院に行ったら良かった!と、行く前とは別人のようでした。おかげさまで、今朝は問題なく起きました。一週間後またお伺いいたします。取り急ぎお礼まで。」

当院では、小学生になったら自分の症状を自分で話すことにしています。これは子どもの自立心を育てる手助けをするためです。この相談の重要な点も、まさに自立心です。自分の問題点を自分でとらえ、解決していくという事を示しています。小児科医は病気を診断して治療を行うだけではありません。お母さんの不安を解消したり、子どもの成長を助けることにまで取り組んでいるのです。ちょうど300号に、このような取り組みを紹介できるのは、とてもありがたいことです。

以前膝の障害で紹介した青葉区の佐藤さんからの報告のメールです。「いつもお世話になっております。先日息子が円板状半月板の手術を受けることになりました、佐藤〇〇の母です。5月末に無事手術を終え、先日退院しました。半月板切除に加え、一部半月板が割れていたため、それによって膝の腫れが起きたのでは、と言う事で縫合も行ったそうです。術後は歩くこともできませんでしたが、子どもの持つ驚異の回復力で、1週間後には多少違和感はありますが自力で歩き、さらには走り回って遊んでいる程でした。ただ、処方された痛み止めが切れたせいなのか、今朝から再び足の痛みを訴え、昨日外来で経過良好と言われたばかりなので心配ではありますが、油断せずに見守っていきたいと思います。ご心配頂き、ありがとうございました。大変遅くなりましたが、取り急ぎ術後の報告でした。また、クリニックニュースへの掲載構いません。できれば匿名でお願いします。」

小児科を膝の病気で受診というと、疑問があるかも知れません。でも小児科は子どもの病気の窓口です。どんな症状であっても、遠慮なく相談してください。当院で対応出来ない場合は、しっかりと道すじを作ることも小児科医の役割と考えています。そして診察後、さらには手術後にわざわざ報告してくれること。これも「お母さんの不安・心配の解消」を理念にした、コミュニケーションの賜物です。この相談も300号で紹介できることは、クリニックが歩んできた道程が正しかったこと、さらにはCLINIC NEWSを発行し続けてきたことに間違いがなかったことを証明してくれることです。

6月の感染症の集計



夏に多く見られる発疹を伴うウイルス感染症が目立ちます。また水痘が小学生を中心にみられています。それ以外の特別な感染症の流行はありません。1例ですがインフルエンザがありました。

高熱と咳がひどい気管支炎が流行し、RSウイルス感染症がみられます。グラフに示していませんが、アデノウイルス、さらにはパラインフルエンザウイルスが3例みられました。

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は600人を越えるお母さんが登録し利用しています。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。下のQRコードから是非登録をお願いします。

その他の情報発信としてFacebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。最新情報はFBをどうぞ。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合はkodomoclinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Facebook

編集後記

今月号について300号になりました。おそらく小児科の院内報では、ついに第一の座を射止めました。もちろん知る範囲ですが、肝炎の入院で1回だけ発行できなかった時がありましたが、よくまあ、ここまで続いたものだ自分でも関心しています。続けられたのは読者の後押し以外では、負けず嫌いな性格のなせる技かもしれません。偉そうなことを言っているのに、院内報やめてしまったと言われたくないのです。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!